

2. 検査方法の概要



歪検査器 LSM シリーズには、直交ニコル法、平行ニコル法、鋭敏色法、円偏光法、セナルモン法との5種類の検査法があります。鋭敏色法を除き、各検査法では、白色、単色の2種類の光源を利用できますので、用途に合わせて選ぶことができます。なお、単色光源は、589 nm のナトリウム光源を使用しています。

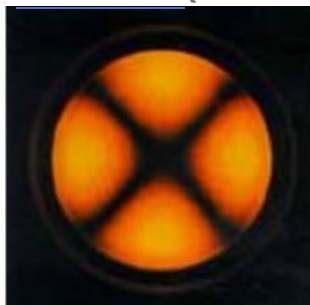
【検査物について】

透明なガラス、プラスチック、光学結晶を検査することができます。それぞれの材質とも、無色だけでなく色付きのものでも検査できますが、透明度が著しく低下しますと検査できなくなります。またスリガラスのように、表面に砂ズリ加工をしたものもオイルバスなどの器具を使用すれば観察することができます。数ミリ単位の微小な検査物は、顕微鏡の利用により観察することができます。(ただし検査物の外形の条件により、観察可能寸法が変わってきます) 3 kg 以上の重量があるものは、デッキガラスが破損する恐れがあるため検査できません。また摂氏 80 度以上、-20 度以下のものは検査できません。

直交ニコル法(白色光源)



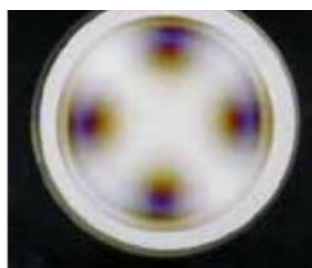
直交ニコル法(単色光源)



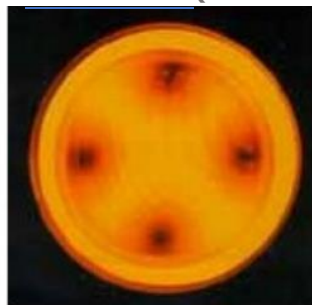
鋭敏色法(白色光源)



平行ニコル法(白色光源)



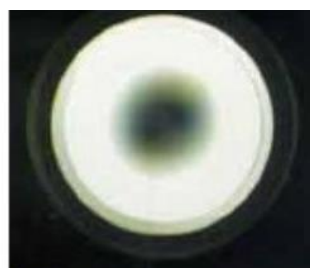
平行ニコル法(単色光源)



セナルモン法(白色光源)



円偏光法(白色光源)



円偏光法(単色光源)



セナルモン法(単色光源)

